

平成23年3月

市民の皆様へ

地域福祉に関する市民意識調査

芦屋市

調査ご協力をお願い

皆様には日頃より、市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、本市では、「芦屋市地域福祉計画」を平成18年度に策定しました。これは、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすための仕組みや方向性、また、それらを実現するために住民、福祉事業者、様々な団体、行政などが協力しながらお互いに支えあう地域社会をつくる取り組みの指針となる計画です。

この計画は、平成23年度を最終年度としており、平成24年度からの第2次の地域福祉計画を策定するため、今年度に「芦屋市地域福祉市民会議」を開催し、市民の意見をまとめてきました。

この調査は地域福祉に関する市民の皆様のお考えを広くお聞きし、現行計画の評価や第2次計画に反映していくため、実施いたします。

この調査にご協力をお願いするのは、芦屋市内にお住まいの20歳以上の方の中から、無作為に抽出させていただいた2,500人の方です。

調査は無記名で、調査結果はすべて統計的に処理いたします。回答者個人を特定することはありませんので、ありのままのお気持ちをお答えください。また、ご回答いただきました内容は、施策の参考にする他には使用いたしません。なお、調査用紙は、調査結果の分析の都合上、居住地の中学校区ごとに色を分けています。ご了承ください。調査用紙は一定期間芦屋市で保管し、期間終了後は廃棄します。

お忙しいところ誠にお手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

記入にあたってのお願い

- 1 この調査は、あなた自身（封筒のあて名の方）のお考えでお答えください。なお、病気や障がいなどのためご自身で記入できない場合は、ご家族の方などがあて名の方の意見に基づいて記入していただきますよう、お願いいたします。
- 2 各問で「その他」を選ばれた場合は、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- 3 お答えいただきたくない項目については、空欄で結構です。
- 4 ご記入いただきました調査用紙は、同封の返送用封筒に入れて3月15日（火）までに投函してください。
- 5 ご記入にあたりご不明の点や、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【問い合わせ先】 芦屋市保健福祉部地域福祉課

TEL 38-2040 / FAX 38-2160

【芦屋市地域福祉計画のホームページ】

URL <http://www.city.ashiya.lg.jp/fukushi/chiiki.html>

地域福祉に関する市民意識調査

問1 あなたはふだんの暮らしを通じて、芦屋のまちについてどのように感じていますか。つぎの項目について、それぞれいちばん近いものを選んでください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそうは思わない	そうは思わない	わからない
子育ての環境がよい	1	2	3	4	5
高齢になっても安心して住める	1	2	3	4	5
障がいのある人が地域で生活しやすい	1	2	3	4	5
保健・医療サービスが充実している	1	2	3	4	5
福祉の相談窓口が身近にある	1	2	3	4	5
市民のつながりがある	1	2	3	4	5

問2 あなたは、日常生活のなかで、不安を感じていることがありますか。(複数回答可)

1 収入や生活費のこと	2 自分や家族の健康のこと
3 自分や家族の老後のこと	4 子どもの教育や将来のこと
5 仕事のこと(失業や転職など)	6 家族内の人間関係のこと
7 地域での人間関係のこと	8 自然災害や環境のこと
9 その他 []
10 特に不安はない	

問3 あなたは、日常生活のなかで、家族以外のだれかに手助けをしてほしいと思っていること(または現在してもらっていること)がありますか。(複数回答可)

1 日常の買物	2 食事の支度	3 日常のそうじ	4 ゴミ出し
5 電球の交換やちょっとした力仕事	6 自分や家族の介護	7 子どもの世話や一時的なあずかり	8 安否確認のための見守り
9 話し相手や相談相手	10 役所や契約などの手続き(書類づくり)	11 急に体調が悪くなったときの支援	12 地震などの災害が起こったときの支援
13 その他 []		
14 特に手助けをしてほしいことはない			

問4 あなたは芦屋市での現在の生活全体について、満足しておられますか。

1 満足している	2 どちらかといえば満足している
3 どちらかといえば満足していない	4 満足していない

問5 あなたは、福祉の面での困りごと（日常生活や介護、子育てなどで支援が必要なこと）が起きたとき、適切な支援を受けるための情報を得ることができると思いますか。

- 1 必要な情報を得ることができると思う
- 2 必要な情報を得ることは難しいと思う
- 3 わからない
- 4 その他（)

問6 あなたは、福祉の面での困りごとが起きたとき、家族や友人など以外で、どこに相談したいと思いますか。（複数回答可）

- 1 市の相談窓口（市役所の福祉相談窓口や保健福祉センターなど）
- 2 地域にある福祉や子育て支援の相談窓口（高齢者生活支援センター、子育てセンター、障がい者相談支援事業所など）
- 3 地域にある福祉や子育て支援の施設や事業所（高齢者・障がい者関係や保育所など）
- 4 地域で気軽に相談にのってくれる民生委員・児童委員など
- 5 同じ課題をもった人どうして自助の活動を行っている団体やグループなど
- 6 社会福祉協議会
- 7 県の相談窓口（健康福祉事務所（保健所）など）
- 8 その他（)
- 9 特に相談したいと思うところはない

問7 災害時の支援や、安否の確認などをすすめるために、プライバシーの保護に配慮しながら、個人情報を地域で共有することが必要だと言われていますが、あなたはこのことについてどのように思いますか。

- 1 プライバシーにきちんと配慮されるのであれば、個人情報を提供してもよい
- 2 どのような場合であっても、個人情報は提供したくない
- 3 わからない
- 4 その他（)

問8 あなたは、市民も参加して「地域で支えあう福祉」をすすめることについて、どのように思いますか。

- 1 市民一人ひとりが、自分のできることをしていくのがよい
- 2 協力できる人が取り組めばよい
- 3 個人では難しいので、地域の団体などが中心になって取り組めばよい
- 4 福祉は行政の仕事なので、市民は参加しなくてよい
- 5 わからない
- 6 その他（)

問9 地域の福祉や子育て支援などをすすめるためのつぎのような活動のうち、あなたが、現在、行っているものがありますか。(複数回答可)

- 1 自治会・老人会・子ども会などの地域の組織による、福祉や子育てを支援する活動
- 2 民生委員・児童委員や福祉推進委員の活動
- 3 これら以外の、福祉や子育て支援に関するボランティアやNPOなどの活動
- 4 コミスクの活動
- 5 地域の福祉や子育て支援をすすめるための寄付や物品などの提供
- 6 その他 ()
- 7 現在、行っている活動はない

問10 問9のような活動について、今後、どのようにしたいと思いますか。

- 1 現在行っている活動を続けていきたい
- 2 現在よりもさらに活動を広げたり、現在の活動にかえて新しい活動をしたい
- 3 今後は活動を減らしたい、または、やめたい
- 4 現在は活動していないが、今後はしてみたい
- 5 活動してみたいが、実際にするのは難しいと思う
- 6 このような活動をしてみたいとは思わない
「活動するのは難しいと思う」または「してみたいとは思わない」方は、その理由は。
()
- 7 その他 ()

問11 あなたご自身のことも含め、市民が地域の福祉や子育て支援の活動に参加しやすくするためには、どのような支援や条件があればよいと思いますか。必要だと思うものに「 」を、特に重要だと思うものに「 」をつけてください。(複数回答可)

- 1 活動についてのPRや情報提供を充実する
- 2 活動について相談でき、自分が希望する活動につないでくれる窓口を充実する
- 3 参加のきっかけとなる呼びかけや、気軽に参加できる機会を充実する
- 4 負担が大きくなりすぎないように、多くの人が分担して活動できるしくみをつくる
- 5 身近なところで活動できるよう、活動場所(拠点)を増やす
- 6 交通費などの費用や、多少の報酬が受けられる活動を増やす
- 7 ボランティア休暇など、働いている人の時間的な余裕を増やす
- 8 地域の活動や生涯学習の活動などを行っている人に、福祉の活動への参加を呼びかける
- 9 活動を表彰したり、社会的に評価されるしくみを充実する
- 10 その他 ()

問12 芦屋市の地域福祉を充実していくうえで必要な取り組みとして、優先的にすすめていくべきだと思うものは何ですか。

つぎのなかで、優先度が高いと思うものから3つを選んで、番号を記入してください。

- | |
|----------------------------------|
| 1 「市民と市民」、「市民と行政」の協働をもっとすすめる |
| 2 地域の住民や団体のつながりをもっと強くする |
| 3 地域福祉活動やボランティア活動の担い手を増やす |
| 4 地域生活での困りごとを支援するサービスや活動を充実する |
| 5 「行政」や「地域」や「個人」がもっている情報をもっと活用する |
| 6 地域で話しあいや活動ができる拠点を確保する |
| 7 市内の移動（交通や道路など）をスムーズにする |
| 8 芦屋の自然や文化などを、地域福祉にもっと活かす |



1 番目にすべきこと		2 番目にすべきこと		3 番目にすべきこと	
------------	--	------------	--	------------	--

これら以外で充実していくべき取り組みがあれば、お書きください。

--

問13 芦屋市では、地域福祉を住民、福祉事業者、さまざまな団体、行政などが協働ですすめていくための指針として、「芦屋市地域福祉計画」を平成18年度に策定しました。

あなたは、この計画を知っていますか。

- | |
|-------------------------------|
| 1 知らない |
| 2 聞いたことがあるが、計画書や概要版などを見たことはない |
| 3 計画書や概要版を見たことがあるが、内容はよく知らない |
| 4 計画の内容を知っているが、推進に関わったことはない |
| 5 計画の推進や、計画に基づく活動・事業に関わっている |
| 6 その他 [] |

※「芦屋市地域福祉計画」は、「住民主体の地域福祉を推進し、地域資源を活用するために仕組みづくりを支援し、地域福祉の実現を図ります。」という【目標】と、以下の4つの【基本方針】を掲げています。

基本方針1：地域福祉活動への住民参加の促進

基本方針2：福祉サービスの充実

基本方針3：福祉サービスの適切な利用の促進

基本方針4：人にやさしいまちづくりの促進

問14 芦屋市地域福祉計画では、つぎのようなことを目標として定めていますが、計画を策定した平成18年度（約4年前）とくらべて、これらはどのように変わったと思いますか。

地域福祉計画で目標としたこと	かなりよい方向にすすんだと思う	多少はよい方向にすすんだと思う	あまり変わらないと思う	むしろ悪くなったと思う	わからない
住民や地域の団体，ボランティアなどの地域福祉への参加を促進・支援する	1	2	3	4	5
福祉施設や提供体制など，サービスを充実するための基盤整備をすすめる	1	2	3	4	5
地域の資源（人材・拠点・財源など）を地域福祉に有効活用する	1	2	3	4	5
福祉や保健・医療などに関する情報提供や相談の体制を充実する	1	2	3	4	5
福祉の支援が必要な人の権利擁護をすすめる	1	2	3	4	5
地域と行政などが連携してすすめる地域福祉のネットワークを充実する	1	2	3	4	5
だれもが社会参加し，役割をもって豊かに暮らせるよう支援する	1	2	3	4	5
市民の福祉意識を高めて「福祉文化」を醸成する	1	2	3	4	5
だれもが外出しやすいまちづくりや，利用しやすい施設づくりをすすめる	1	2	3	4	5

問15 芦屋市地域福祉計画では、「住民一人ひとりの日常的な取り組み」としてつぎの事項を定めていますが、あなたは日常生活のなかで、これらのことをしていますか。

住民や地域の取り組み	意識してやっている	意識はしていないが、できている	意識はしているが、できていない	していないが、これからはやりたい	特にやりたいとは思わない
笑顔であいさつをする	1	2	3	4	5
ご近所づきあいを大切にして，地域とつながりをもつ	1	2	3	4	5
困ったときに手助けを発信できる関係づくりをする	1	2	3	4	5
地域活動に積極的に参加・参画する	1	2	3	4	5
身近な自分の周りから，福祉意識をもつよう呼びかける	1	2	3	4	5
プライバシーや個人情報保護についてみんなで考え直すよう呼びかける	1	2	3	4	5

問16 芦屋市では、第2次地域福祉計画を市民参加でつくっていくために、地域福祉に関心や関わりのある市民による「芦屋市地域福祉市民会議」を開催しました。

そのなかで「市民の立場で取り組んでいきたい4つのプロジェクト」が提案されました。これらのうち、あなたが関心があるのはどのプロジェクトですか。関心をもったものに「 」, 自分でも参加してみたいと思ったものに「 」をつけてください。(複数回答可)

- | |
|--|
| 1 「協働をすすめていくための地道な取り組み」
市民が芦屋のまちを知り、愛着をもって「自分ができること」に参加し、協働していくよう、イベントを企画し、参加を呼びかけながら成功体験を共有していきます。 |
| 2 「ひとり一役運動」
身近な地域での市民のつながりをつくっていくために、「それぐらいならできる」という役割をたくさん作り、参加を呼びかけていきます。 |
| 3 「芦屋ベンチプロジェクト」
出かけたときにだれでも座れ、気軽に話ができるベンチを市内にたくさんつくっていくよう、市民に呼びかけてデザインや寄付などを募りながら、すすめていきます。 |
| 4 「市民参加の情報紙づくり」
行政が市民に伝えたい情報なども含め、市民が必要な情報を見つけやすい情報紙を、市民目線でニーズを吸い上げながら、市民が参加してつくりま |

問17 あなたご自身のことについておききします。

(性別や年齢、その他の属性による回答の傾向を分析するために使用します。)

(1) あなたの性別は。

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

(2) あなたの年齢は。

- | | | |
|--------|--------|----------|
| 1 20歳代 | 2 30歳代 | 3 40歳代 |
| 4 50歳代 | 5 60歳代 | 6 70歳代以上 |

(3) あなたのお仕事(職業)は。

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1 自営業または家族従事者 | 2 自由業(開業医・弁護士・著述業など) |
| 3 民間企業の勤め人 | 4 公務員 |
| 5 パート・アルバイト・内職 | 6 家事専業(主婦・主夫) |
| 7 学生 | 8 無職 |
| 9 その他() | |

(4) 同居されている家族の構成は(二世帯住宅の場合も含めてください)。

- | | | |
|----------------------|---------|---------------------|
| 1 ひとり暮らし | 2 夫婦のみ | 3 親と子(18歳未満の子どもがいる) |
| 4 親と子(18歳未満の子どもはいない) | 5 親と子と孫 | |
| 6 その他() | | |

(5) 同居されている家族に、介護や日常生活の支援が必要な方はいますか。(複数回答可)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 介護や支援が必要な高齢者がいる | 2 介護や支援が必要な障がい者がいる |
| 3 介護や支援が必要な人はいない | 4 その他 () |

(6) あなたのお住まいは

() 町

(7) お住まいの形態は

- | | | |
|-----------|---------------------|------|
| 1 一戸建ての持家 | 2 集合住宅の持家 (マンションなど) | |
| 3 民間の賃貸住宅 | 4 公営住宅 (県営・市営) | 5 社宅 |
| 6 その他 () | | |

(8) 芦屋市に生まれてからの期間は

- | | | |
|------------|----------|-----------|
| 1 1年未満 | 2 1～5年未満 | 3 5～10年未満 |
| 4 10～15年未満 | 5 15年以上 | |

(9) あなたは、家族や親族以外で、親しくつきあったり、困ったときには助けあえる人がいますか。(複数回答可)

- | | |
|---------------------------------------|---------------|
| 1 近所の人 | 2 職場や学校の友人・知人 |
| 3 芦屋市内や近隣の自治体に住んでいる友人・知人 | 4 「3」以外の友人・知人 |
| 5 その他 () | |
| 6 家族・親族以外で、親しくつきあったり、困ったときに助けあえる人はいない | |

地域の福祉に関して感じておられることやご意見などがありましたら、自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。